

✈ 海外生活 だより

ニューヨーク事務所

無料で楽しむニューヨーク

(財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所所長補佐
鷲岡 恵子 (和歌山県派遣)

皆さんは、ニューヨークと聞いて何を思い浮かべるでしょうか？自由の女神、エンパイアステイトビルディングなどの摩天楼、世界経済の中心ウォール街、ロックフェラーセンターの巨大クリスマス・ツリー、ミュージカルが好きな人ならブロードウェイが頭に浮かぶかもしれません。そうです。ニューヨークはエンターテインメントの街。ジャズなどの音楽はもちろん、クラシックバレエ、オペラなど多様なエンターテインメントが揃っています。しかし、そうは言いつつエンターテインメントにお金をかけられる人ばかりではないのが現実です。そんな市民のためにニューヨークには、無料で楽しめることがたくさん用意されています。今回は観光客にも役立つ「お金をかけずにニューヨークを楽しむ方法」をご紹介しますと思います。

ほぼ全ての美術館に 無料で入館可能？

ニューヨークには、世界4大美術館の1つメトロポリタン美術館、ニューヨーク近代美術館（通称MoMA）をはじめとする有名な美術館、博物館がたくさんあります。もちろん、基本的に入館料が必要なのですが、MoMAであれば金曜日の夕方は無料など、無料の曜日・時間帯が設けられている施設がたくさんあるのが特徴です。大規模な植物園や動物園にも平日ではありますが無料で入場できる日があり、誰もが気軽に利用できる配慮がなされています。面白いのは、「Pay What You May Wish」という制度。これは「いくらでもお好きな額を払ってください」という意味で入場者は自分が決めた額を受付で支払うことになります。私がこれを初めて利用したのは、帝国ホテ

ルでも有名なフランク・ロイド・ライト設計のグッゲンハイム美術館でした。毎週土曜日の夕方5時45分から7時45分まではこの制度が適用されます。初め、外国人の私にはいったい幾ら支払ったらよいか見当が付きませんでした。ニューヨークを観光していると、1ドルで入場している人が多いことがわかりました。私は2ドルを渡し、通常22ドルするピカソの特別展を鑑賞しました。受付の人が笑顔でチケットを渡してくれた時は、ほっとしました。また、あまり知られていないのですが、実はメトロポリタン美術館と世界最大のアメリカ自然史博物館は好きな額いつでも入場できます。やり方は簡単。受付に行き、好きな額を渡し、ただ、「One Adult, Please」と言えばいいのです。「払わない」という選択肢もあります。ただ、料金（推奨額）が明示されていること、両館共に、展示数、質が非常に充実しているため、個人的には躊躇ちゆうちよします。なお、常設展示では写真撮影を許可しているところが多く、モネやピカソなどの作品の写真が撮り放題なことにも驚かされました。ちなみに、ニューヨークでは、多くのボランティアが受付や無料ガイドとして、美術館の運営に関わっています。

ニューヨークの夏は 無料イベントが目白押し

ニューヨークの夏は、無料イベントが真っ盛り。特に多いのが公園を利用したイベントです。代表的なものをいくつかご紹介します。

○セントラルパーク 無料野外劇

SHAKESPEARE IN THE PARK

このイベントは、1962年から続く歴史のある夏



長年市民に愛されているセントラルパークのシェイクスピア劇

の風物詩の1つで、セントラルパーク内にある劇場で2か月にわたり、シェイクスピアの演劇が無料で開催されます。なんと運営費はほぼ市民の寄付でまかなわれているというのですから驚きです。もちろん、無料だけにチケットはかなりの争奪戦になるので、確保するには早朝から並ぶ覚悟が必要です。寄付をした人には優先チケットが与えられるという特典があります。

○ブライアント・パーク ブロードウェイイベント

Broadway in Bryant Park

夏の1か月間、毎週決まった曜日の午後、5組ほどのブロードウェイスターが登場し、それぞれのミュージカルの代表曲を披露するイベントです。チケットも



ブライアント・パーク ブロードウェイイベント

予約も何もいらないので、誰でも気楽に参加できるだけでなく、役者たちも、ほとんどが普段と違いTシャツにジーンズなどのラフな格好で舞台に立ちます。本場のミュージカルさながらのパフォーマンスを見られるため、市民から愛されているイベントの1つです。

○バッテリーパーク アートクラス

(Battery Park City Parks Conservancy主催)

自由の女神が見えるマンハッタン南端のバッテリー・パークでは、無料アート教室が開催されています。1人ずつ絵のアドバイスが受けられるだけでなく、なんと必要な画材はすべて用意されているため手ぶらで参加してよいという至れり尽く

せりの教室です。これは、NPO団体により運営されています。残念ながら期間は5月～10月に限られますが、アートの街ニューヨークらしい取り組みですので、機会を逃さず、滞在中にぜひとも挑戦してみたいと考えています。

**無料イベントに感じる
ニューヨークの底力**

今回は、誌面の都合でご紹介できませんでした。他にも、至るところで行われていてニューヨークで人気急上昇している無料のヨガクラス、無料コンサートなどもたくさん開催されています。毎年恒例で夏にセントラルパークで行われるニューヨーク・フィルハーモニックのコンサートに参加したところ、みんな広い芝生の上に寝転んだり、食べたり飲んだりしながら自由に音楽を楽しんでいました。クラシックやオペラなど、少し敷居が高いと感じるものも無料であるからこそ気軽に挑戦できるもの。安かろう悪かろうではなく、質の高い本物が、長期間、多くの市民に、しかも無料で提供されているところに、ニューヨークの文化レベルの高さ・底力を感じます。もちろん、その陰には多くの企業・市民の寄付やボランティアの力があります。これらの活動に参加し、ニューヨーカーたちと一緒に楽しみ、時にはボランティアに参加しながら、これらのイベント運営にどうやって市民を巻き込み、成功しているのか、その鍵について勉強していきたいと思っています。



毎週木曜日午後6時からブライアント・パークで開催されているヨガクラス (季節限定)